



京都で考えた

ミシマ社
創業 10 周年
企画

4 6 判変形 (天地短い) / 上製 / 128 ページ / 定価 : 1,500 円 + 税

装丁 : クラフト・エヴィング商會 / ISBN : 978-4-903908-99-1

吉田篤弘

本日 (10/20) 発刊 しました!

クラフトエヴィング商會、
吉田篤弘作品のすべてに通底する、
この世界観の「原点」は
京都にあった!!

この街で考えたことを、これまでに何冊かの本に書いた。ただ、それらのほとんどは小説だったので、物語のどの部分が京都で考えたことであるかは判らない。いまこうして書き始めたこの本は小説ではなく、京都で考えたことをありのままに書こうという本である。(まえがき より)

ファン垂涎の一冊であるとともに、鷲田清一氏「京都の平熱」とも異なる
まったく新しい京都エッセイの誕生!

吉田篤弘 (よしだ・あつひろ)

1962 年東京生まれ、主な著作に「つむじ風食堂の夜」「針がとぶ Goodbye Porkpie Hat」「百鼠」「空ばかり見ていた」「78 ナナハチ」「小さな男*静かな声」「それからはスープのことばかり考えて暮らした」「園外へ」「パロール・ジュレと紙屑の都」「水晶万年筆」「モナ・リザの背中」「電気ホテル」「ソラシド」「レインコートを着た犬」などがある。小説を執筆するかたわら、クラフト・エヴィング商會名義による著作と装幀の仕事も行なっている。

10
月刊

『京都で考えた』吉田篤弘

定価 ¥1,500 + 税

ISBN : 978-4-903908-99-1

ご注文数

冊

* 仕掛け用パネルをご用意します! → A4 ・ A3

●ミシマ社の本の仕入れ方法について (基本パターン)
直接取引 (返品可) *詳細は別途、「取引覚書」をご用意しています。

- ①掛率 : 70%
- ②納品 : 宅配便で直送します (送料はミシマ社負担)。
- ③返品 : 随時入帳可能 (送料は書店様負担)。
- ④清算 : 新刊などは3カ月後、補充などは当月請求。
返品は受領月の請求金額から控除、控除しきれなかった場合は、
次回の請求より相殺を原則とする。
- ⑤支払 : 月末締めでご請求、翌月末までのお支払い。手数料ミシマ社負担。
- 取次ルート (返品不可)
注文品のみ出荷、返品はできません。八木書店様経由で各取次へ搬入します。

直

買店名:

ご担当者:

様

通信欄: